



# 茶

いよいよ  
新茶シーズン！



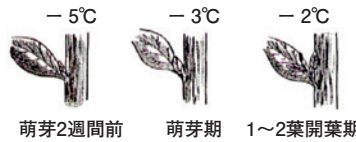
農業経営支援課  
福手 裕三

3月に入ると「いよいよ新茶シーズン」という気分になってきます。特に防霜施設の点検は重要な作業です。遅霜を避け、施肥時期を逃さないためにも天気予報に関心を持ちましょう。

## 《防霜対策》

防霜対策として、防霜ファンの柱の傾きやファンの角度、回転は正常かなど点検をしてください。また、サーモスタットが設定温度通り動作するかを事前に確認し、3℃に設定しておきましよう。更新時期にきている古い防霜ファンも多

新芽が低温により被害を受ける温度は  
新芽の生育程度により異なる



いと思しますので、特に念入りに点検してください。

スプリングクラーは、管の破損や目詰まり、ポンプの点検をしてください。散水量は10a当り3〜4t必要で、茶株面温度2℃（株面温度は外気よりも3〜4℃低い）から散水を開始し、日の出後30分くらいまで継続してから中止してください。

被覆は、資材の破れや施設の緩みなどを点検してください。保温効果は資材により異なりますが、トンネル式で0.5〜1℃、棚式で1〜2℃の保温効果があります。開始時期は、萌芽期14日前ぐらいから行うようにしてください。

## 《病害虫の防除》

### カンザワハダニ

越冬明けのダニは、茶株南面の暖かい場所に

に集まっているので、すそ部を中心に葉裏をよく観察してみましょう。昨秋の越冬前調査時は激発ではないものの、比較的高密度の発生状況でした。暖冬の影響もあって本年度も発生状況が多くなることが予想されます。茶園によって発生状況がバラバラですので、各地区での調査結果等を確認し、効率の良い防除を行ってください。

## 防除薬剤

### バロックフロアブルなど

休眠雌成虫の体色は朱色ですが、休眠から覚醒すると暗赤色になり、産卵を始めます。この時期のハダニは日当たりの良い、うね部の葉裏に生息しています。ハダニが多くなったら防除を行い薬剤がしっかりかかるように丁寧に散布をしてください。